

事業評価シート

担当課・室長：地下水・地盤環境室長

事業名	環境保全上健全な水循環の確保に資する施策の推進										
上位施策名	地盤環境の保全										
1 事業の概要	<p>高度経済成長期を通じ、都市への急激な人口や産業の集中と都市域の拡大等に伴い、水循環系が急激に変化し、湧水の枯渇、河川流量の減少、地盤沈下などの障害が発生している。このような中で、人間社会の営みと環境の保全に果たす水の機能が適切なバランスの下に共に確保され、自然の水循環の恩恵が享受される環境保全上健全な水循環を確保するため、水循環の診断・評価手法の確立、流域の保水浸透機能の強化、水循環に関する技術開発などを進めている。</p>										
2 進捗状況	<p>水循環の診断・評価手法の確立を目的として、静岡県岳南地域、富山県黒部川流域をモデルとして、学識者、利水者、地方公共団体等を構成員とした検討会により、地下水を中心とした水循環回復計画を策定しているところである。</p> <p>流域の浸透機能の強化等を図るため、地下水涵養施設、井戸・湧水周辺施設等の整備（井戸・湧水復活再生事業）を行った。事業の箇所数を次表に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 井戸・湧水復活再生事業の箇所数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 40%;">箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 10 年度</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td>平成 11 年度</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>平成 12 年度</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>平成 13 年度</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </tbody> </table> <p>流域の保水機能の把握手法について、リモートセンシングを用いた手法の開発を行っている。</p> <p>水に係する他省庁とは、健全な水循環系構築に向け、平成 11 年度に、水循環系の認識、施策の基本的方向などについて中間とりまとめを行うとともに、連携してモデル流域において水循環健全化に向けた総合施策検討を行っている。</p>		箇所数	平成 10 年度	12	平成 11 年度	8	平成 12 年度	5	平成 13 年度	6
	箇所数										
平成 10 年度	12										
平成 11 年度	8										
平成 12 年度	5										
平成 13 年度	6										
3 評価	<p>モデル流域での水循環回復計画の策定を通じ、環境基本計画に記述された「環境保全上健全な水循環計画」を策定するための知見・ノウハウが集積されつつある。水循環回復計画の策定に向け、今後も調整・検討を進める必要がある。</p> <p>地下水涵養施設、井戸・湧水周辺施設等の整備により、地下水の涵養能力が高まり、湧水等が復活し、地域のコミュニティを育む場が確保され、地元住民からも好評を得ている。今後とも、本事業の推進により、流域の浸透機能を強化し親水空間の創出を努める必要がある。</p> <p>リモートセンシング情報を用いた、広域的な流域の保水能力の把握手法を開発することにより、効率的な水循環回復施策の立案が可能となりうることから、引き続き検討を進める必要がある。</p>										

	<p>水に係る省庁は複数あるが、情報交換、連絡調整を行うことにより、総合的な施策の展開が可能になった。今後も引き続き施策の検討を進めると共にその結果を踏まえ、地方公共団体等における流域毎の取組を支援していく必要がある。</p>
4 予算事項名	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水水循環計画策定等調査 ・良好な水辺空間創出事業費補助
5 対応副施策等	水環境の保全、流域の視点から見た水環境の保全